

2026年4月30日

一般社団法人 日本保険薬局協会  
正会員各位

## 中東情勢の緊迫化に伴う資材の適正発注および医薬品供給への影響把握について

一般社団法人 日本保険薬局協会  
会長 三木田 慎也

拝啓

平素より当協会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今の中東情勢の緊迫化を背景に、原油および石油由来原材料（ナフサ等）の供給懸念が報じられています。これに関連した薬局現場への影響および当協会の対応について、以下の通りお知らせいたします。

記

### 1. 調剤に必要な資材の適正発注（過剰発注の抑制）のお願い

原材料不足への懸念から、分包紙や印字リボン、水剤ボトル、軟膏ボトル等の注文が急増しております。一部のメーカーでは、注文数が通常時の数倍に達し、納期に遅れが生じている事例も報告されています。しかしながら、メーカー各社からは、現時点で製品の供給に必要な原材料は十分に確保されており、供給体制に問題はないとの見解が示されています。

過剰な発注はサプライチェーンの混乱を招く恐れがあるため、在庫状況を再確認し、必要最小限の数量に基づく適正な発注を徹底していただくようお願い申し上げます。

### 2. 医薬品供給等への影響把握について

ナフサ価格の高騰は、医薬品製造に用いる溶媒や、PTP シートなどの石油製品を使用した包装材のコスト上昇・供給不安に繋がる可能性が指摘されています。現時点で直ちに医薬品の供給が停止する状況ではありませんが、事態の長期化を見据えた注視が必要です。当協会では、現場の状況や懸念事項を逐次把握し、厚生労働省へ実態を伝達するなど密接に連携していきます。

今後も正確な情報の収集と提供に努めてまいりますので、会員の皆様におかれましても、冷静なご対応および情報連携をお願い申し上げます。

敬具  
以上